

生態工学 2019 年度第 3 回理事会議事録

日 時：2020 年 2 月 20 日（金）13：30～15：30

場 所：東京文化会館 中会議室 2

【総務委員会】

2019 年度総務委員会活動報告（2 月期）

(1) 会員数・賛助会員数に関して報告があった。

(2) 報告事項

- ・定期預金の解約を行い、一部を普通預金に移し、残りを再度定期預金とした。
- ・日本農業工学会
2019 年日本農業工学会賞 船田良副会長の受賞が決定した。
2019 年日本農業工学会フェローに渡邊博之副会長、中林和重理事を推薦し、フェローの称号が授与された。
- ・日本工学会
令和元年度会長座談会に、北宅善昭会長の代理として 渡邊博之副会長が出席した。
- ・日本農学会
一般社団法人日本農学会総会・選考会に北宅善昭会長が出席した。
- ・日本学術会議
公開シンポジウム「都市農業における資源循環や効率的なエネルギー利用の可能性」に後援を行った。
- ・賛助会員の退会に関して
下記、賛助会員より退会の申し出があった。
日揮株式会社（2019 年度をもって）
一般社団法人ヤンマー資源循環支援機構(2020 年 2 月 28 日をもって)

(3) 審議事項

- ・事務局費の見直しに関して
事務局より下記の様に提案があり、承認された。

	現行	2020 年度(案)
事務局費	¥1,325,184 1 月=10 万円+税+振込手数料	¥995,184 1 月=7.5 万円+税+振込手数料
その他発送手数料等	¥50,971 (発送料の実費を除く)	¥0 (発送料の実費を除く)
合計	¥1,376,155	¥995,184

- ・賛助会員退会後の広告掲載について
賛助会員退会後も、学会誌への広告掲載を承認することとなった。
- ・下記推薦および参加については、学会員での推薦者もしくは参加希望者がいれば事務局まで連絡することとなった。
 - ・第36回国際生物学賞受賞候補者の推薦
 - ・2020年度日本農学賞受賞論文要旨および祝賀会の参加
 - ・2020年コスモス国際賞 候補者推薦
 - ・日本工学会
令和2年度「日本工学会フェロー」候補者推薦
第1回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム参加

【編集委員会】

2019年度編集委員会活動報告（2月期）

下記の報告がなされた。

(1) 生態工学会誌の発刊について

生態工学会誌「生態工学」31巻2号～32巻1号(2019年4月、7月、10月、2020年1月発刊)を発行した(内容:原著論文、短報1、特別寄稿1、ニュース・企画・報告2,お知らせ、投稿規程、総ページ数84)。なお、2019年1月16日時点での査読・著者修正中の論文は、原著論文3報、短報1報、受理済み原著論文2報、受理済み短報1報である。また、32巻1号までをJ-STAGE上の電子ジャーナルとして公開した。

2019年度「生態工学」掲載論文一覧

種類	第31巻			第32巻
	2	3	4	1
特別寄稿				
特集論文				
原著論文	1	1		
短報			1	1
総合論文				
解説・資料			1	
受賞記念寄稿				
ニュース・企画・報告				

(2) 学会賞の推薦

奨励賞として岩永征士会員の「異なる担体に固定化したTiO₂によるエチレンの光触媒分解への湿気を含んだ空気の影響」(Vol. 31, No. 2)を推薦した。論文賞は武田美恵理事の「石垣島の農業集落における住民同士のコミュニケーションと農家の農業意欲及び生産支援に関する研究」(Vol. 31, No. 3)、鄧博慶会員の「小型UAVを用いたカラマツ林の3次元リモートセンシングとその精度評価」(Vol. 30, No. 1)、西野康人会員の「結氷期の能取湖における海氷と水柱の低次生産層における環境動態」(Vol. 28, No. 1)の3編を推薦した。

【企画委員会】

2019年度企画委員会活動報告（2月期）

下記の報告がなされた。

(1) 日本地球惑星科学連合2019年大会（合同開催）

日 時：2019年5月26日（日）～5月30日（木）

会 場：幕張メッセ、東京ベイ幕張ホール（千葉市）

主 催：日本地球惑星科学連合

特記事項：5月26日にセッション「圏外環境における閉鎖生態系と生物システム」において、口頭発表とポスター発表を実施

(2) 2019年度生態工学会年次大会（主催）

日 時：2019年6月28日（金）、29日（土）

会 場：宇都宮大学峰キャンパス大学会館（栃木県宇都宮市）

参加数：74名

特記事項：

- 一般セッション口頭発表 14件、ポスターセッション18件

- オーガナイズドセッション（3企画）

「ISS後の有人宇宙活動に向けて一月面とその周回軌道を舞台に一」 5件

「草本系バイオマス作物エリアンサスを用いた原料生産とバイオ燃料利用技術」 3件

- 一般公開特別講演会

講演1 カラスなぜ遊ぶ 宇都宮大学名誉教授 東都大学教授 杉田 昭栄氏

講演2 生態系の中の植物ウイルス

宇都宮大学理事・副学長 農学部教授 夏秋 知英氏

(3) 第63回宇宙科学技術連合講演会（共催）

日 時：2019年11月6日（水）～11月8日（金）

会 場：アスティとくしま（徳島県徳島市）

特記事項：

- 11月7日（木）にオーガナイズドセッション「宇宙で生きる！～ISSの彼岸～」を企画し、15件の発表を実施した。物理化学的ECLSS、生物的ECLSS、食糧生産などの最新研究の紹介のみならず人口冬眠など宇宙で生きるための新しい話題提供などもあった。リーマンサットなどのニューススペースの参加もあった。

(4) 第2回 生態工学サロン（次世代科学社会応援公開シンポジウムと合同開催）

日 時：2020年3月14日（土）

会 場：X-NIHONBASHI（日本橋室町 1-5-3 福島ビル 7F）

特記事項；運営にあたり関東支部の協力を受ける。

(5) 定例研究会

第1回

テーマ：光環境制御による付加価値植物の高効率生産

日 時：2019年5月28日（火）

会 場：東京文化会館

講 師：大橋 敬子 理事（玉川大学農学部）

第2回

テーマ：LEO/宇宙探査動向とそれを見据えた当社の取り組み（仮題）

日 時：2019年10月31日（木）

会 場：東京文化会館

講 師：峰松 拓毅 氏（有人宇宙システム株式会社）

第3回

テーマ：生態系動態モデルを用いた流入栄養塩の影響評価～東京湾の場合～

日 時：2020年2月20日（木）

会 場：東京文化会館

講 師：坂本 絢香 氏

(6) その他（関連情報）

- 1月21日（火）第34回 宇宙環境利用シンポジウムにて、「宇宙環境利用研究とその宇宙惑星居住科学への貢献」と題して北宅会長（ISAS宇宙環境利用専門委員会委員長）より基調講演があった。
- Space Food Xという団体が宇宙を食の観点から切り拓いている。六ヶ所村の環境技術研究所やバイオスフェアを視察し、MELISSAとも連絡を取り日本版バイオスフェアの建設も視野に入れている。
- 日本航空宇宙学会で昨年作成した宇宙ビジョン2050の増補版として、「人間が定住する月面基地の建設」のロードマップを作成中である。食料生産など生態工学的視点を重点化している。

【表彰委員会】

2019年度表彰委員会活動報告（2月期）

下記の報告がなされた。

・2020年度生態工学会学会賞受賞候補者の選考結果について

(1) 受賞候補者の募集

募集期間：2019年4月1日～11月30日（学会誌，学会ホームページ）

募集結果：推薦5名（学術賞1名，論文賞3名，奨励賞1名）

(2) 表彰委員による選考

選考期間：2020年2月12日～2月19日

選考結果：下記のように決定した。

生態工学会賞 学術賞：蘆原 昌司 理事

食品評価へのフォトンカウンティング技術の応用に関する研究

論文賞：鄧 博慶 会員

小型UAV を用いたカラマツ林の3次元リモートセンシングとその精度評価

論文賞：武田 美恵 理事

石垣島の農業集落における住民同士のコミュニケーションと農家の農業意欲及び生産支援に関する研究

論文賞：西野 康人 会員

Ecology and Hydrography of Sea Ice and the Water Column in Lagoon
Notoro-ko during Frozen Period.

（結氷期の能取湖における海氷と水柱の低次生産層における環境動態）

奨励賞：岩永 征士 会員

異なる担体に固定化したTiO₂によるエチレンの光触媒分解への湿気を含んだ空気の影響

Effect of humid air on photocatalytic decomposition of ethylene by
TiO₂ immobilized on different supports.

【広報委員会】

2019年度広報委員会活動報告（2月期）

下記の報告がなされた。

(1) SEE Quick（メール配信）の運営

SEE Quick 配信依頼に対する取扱い方法を通して、会員および関連学会からの情報の速やかな配信業務が成し遂げられ、2019年4月1日から2020年2月15日までに57回（1527より1984号：通算1584回（400号分欠番））の情報提供を行った。円滑なSEE Quickの配信業務を行うとともに、問題点などを検証し改善に努める。また、会員からの有用な情報を迅速に配信できる体制を維持する。

(2) HPの内容の更新

迅速なHPの内容の更新と整備を行い、会員および一般の方への情報提供を行う。また、HPコンテンツ拡充のため、他学会HP等の内容を調査し、当学会HPの充実・改善に努める。

【次世代科学社会活性化委員会】

2019年度次世代科学社会活性化委員会活動報告（2月期）

下記の報告がなされた。

- (1) 継続して男女共同参画学協会連絡会の運営委員としての活動を行っている。例年通り、今年度も秋の連絡会シンポジウムにポスターで参加することを予定していたが、台風のため中止となった。要旨集の参加のみとなった。
- (2) 当委員会が開催する次世代科学社会応援シンポジウム 2020（大会長：加藤浩）を開催するべく準備を行っている。

次世代科学社会応援シンポジウム 2020・生態工学サロン合同大会（名称仮）

（生態工学会：次世代科学社会活性化委員会・企画委員会）

開催日： 2020年 3月 14日 土曜日

時間：13:00-20:00（予定）

場所： 宇宙ビジネス拠点(X-NIHONBASHI)

<https://www.x-nihonbashi.com>

参加費：意見交換会参加費として

一般 2000円 登壇者、大学院生以下 無料を予定

食事代として徴収、一部を会運営費として徴収予定

プログラムが確定し次第、HPの方にも掲載予定。

- (3) 例年どおり、地球惑星科学連合大会 2020 のセッション終了後に、全世代との交流会を行う予定で進めている。
- (4) 次世代科学社会活性化委員会の中の若手の会の組織の充実を進めた。若手の会組織充実に伴い、若手の会発足時から若手の会会長として尽力された木村駿太（東大）会長は、会長職から若手の会の指導の立場に変わり、会長 オン碧（筑波大）の体制で進められている。

【各支部活動】

2019年度各支部活動報告（2月期）

下記の報告がなされた。

【北海道・東北支部】

〈北海道・東北支部長の交代〉

- ・交代： 皆川秀夫理事（北里大）（～2020年3/31）⇒ 石川義朗会員（（財法）環境科学技術研究所）（2020年4/1～）
- ・理由： 皆川理事が、2020年3/31をもって、北里大学を定年退職するため。
- ・了解： 環境研の石川会員には、皆川理事より、2019年12/13（月）、了承確認済

【関東支部】

- ・陸上養殖勉強会と共同で、アクアポニクスシンポジウムを企画。
海洋大学遠藤先生の起案により、関東支部で検討中。新型コロナウイルスにて開催時期は、不確かになるが年度内の開催を目指したいと考えている。
素案ができた段階で、企画委員会とも協力し、学会員増強も併せて検討できる様に進める予定。

【東海支部】

- ・11月1日に生物環境工学会の東海支部と合同で発表会を開催予定。

【関西支部】

〈合同シンポジウム開催〉

関西支部では、支部会活動の活性化および学会会員増強のため2014年度より日本農業気象学会近畿支部との共催によるシンポジウムを行ってきた。2019年度は生態工学会関西支部・日本農業気象学会近畿支部との共催で特別講演会を開催した。

特別講演会「気候変動とその生態系や私達の暮らしへの影響を考える(5)」

生態工学会関西支部・日本農業気象学会近畿支部共催

日時： 2019年11月30日(土) 14:30～16:45

場所： 大阪府立大学学術交流会館

〒599-8531 堺市中区学園町1-1

1. 古典籍から調べる植物と環境
青野靖之（大阪府立大学生命環境科学研究科）
2. 地球温暖化が植物の揮発性炭化水素放出に及ぼす影響
奥村智憲（大阪府環境農林水産総合研究所）
3. 微細藻類培養に関する二、三の知見
増田篤稔（玉川大学農学部）

17:00 頃～

《情報交換会》



増田先生のご講演の様子

本年度は関西支部会員に個別で上記特別講演会の案内メールを送付した。その結果、関西支部からの参加者が例年よりも増え、特別講演会全体として41名のご参加をいただけて、盛会となった。また新たな入会につながる活動も行えたという成果があった。

【年次大会実行委員会 2020 生態工学会年次大会(三重大会) 準備状況】

下記の報告がなされた。

(1) 大会組織 (敬称略)

大会委員長：村上克介

実行委員長：加藤浩

大会実行委員：寺添斉 (事務局)、遠藤 雅人、増田篤稔、田村治美、土肥哲也、
細井文樹、中根昌克

(2) 開催日時・行事予定

日程：6月25日(木)、26(金)

会場都合により、当初予定されていた2020年6月18日(木)、19日(金)から変更となった。

6月25日(木)	6月26日(金)
AM 一般口頭発表セッション PM 総会 表彰式・受賞者講演 特別講演会 懇親会	AM 一般口頭発表セッション ショートプレゼンテーション PM ポスターセッション 表彰式・閉会式

(3) 会場

三重大学 (三重県津市栗真町屋町 1577)

(4) 特別講演会

三重大学から2名程度の先生にお願いしてご講演いただく予定

(5) ポスターセッション

ショートプレゼンテーションを実施 (2分/件程度)

(6) 主要な締め切り一覧

内 容	期 日
オーガナイズドセッション企画案提出	2020年4月6日 (月)
一般発表セッション申込み	2020年4月20日 (金)
発表論文提出	2020年5月18日 (月)
事前参加費振込み	2020年6月12日 (金)